

高齢者の活躍推進について

【担当省庁：厚生労働省】

1 京都モデルの全国への展開

少子高齢化が進展し、労働力不足が課題となっている中で、京都府においても中小・零細企業の人材・労働力不足が課題となっている。

働く意欲のある高齢者の能力や経験を活かすことが重要であることから、**京都府においては、平成28年12月から「生涯現役促進地域連携事業」の採択を受け**、高齢者が幅広く社会で活躍する機会を創出することにより、京都ならではのものづくり産業や観光業などの活性化に取り組むこととしている。

こうした取組は、**全国規模で行う必要があり、京都府の先駆的な取組を、国において制度化**していただきたい。

京都府の担当課	商工労働観光部 総合就業支援室 (075-414-8923)
---------	--------------------------------

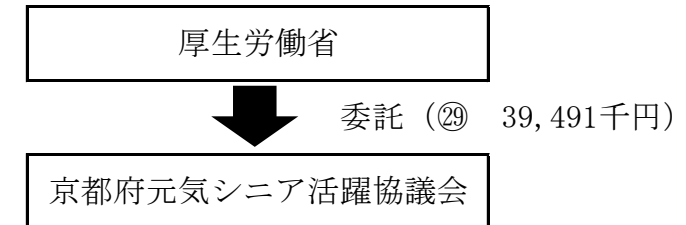
■生涯現役促進地域連携事業

事業内容	地方自治体を中心となって構成される「協議会」等からの提案に基づき、地域における高齢者の就労促進に資する事業を幅広く実施
事業規模	都道府県：各年度40,000千円程度
実施主体	協議会（地方自治体を中心とした合議体）等
実施期間	最大3年度間（平成29～31年度）

※平成28年度は単年度事業として実施（289,639千円）

■京都府における取組

実施主体	京都府元気シニア活躍協議会
事業名	京都府における高齢者いきいき活躍事業 ～生涯現役社会の着実な前進に向けて～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ▶ オール京都の総合就業支援拠点である京都ジョブパークに高齢者個別相談などを行う生涯現役応援コーナーを設置しマッチングできる仕組みを構築 ▶ 企業OB会と連携して定年退職者の経験、技能を中小企業やベンチャーで活かす橋渡しを支援 ▶ 外国人観光客に対する観光通訳ボランティア（有償）及び京都観光ガイド・ボランティアの育成、確保



（協議会の構成）
 京都府、京都府高齢・障害者雇用支援協会、公益社団法人 京都府シルバー人材センター連合会、公益財団法人 京都SKYセンター、京都経営者協会、日本労働組合総連合会京都府連合会、NPO法人 京都シニアベンチャークラブ連合会